

防災訓練「避難経路結果検討マップ」(地区別)について

■「避難経路検討結果マップ」は、

平成29年11月・平成30年11月に実施した「綾川町地区別防災訓練」の成果を整理したものです。マップには皆さんの意見を載せています。

■「綾川町地区別防災訓練」では、

訓練に参加した皆さんが、水害や土砂災害の危険箇所を町の防災マップに書き込みながら、道路冠水やがけ崩れのと看、どこへ、どのように避難するのが最善かを考えました。

訓練に参加されたのは、自治会長・自主防災組織・消防団員をはじめとする、地域で「自助(備え)」し、「共助(助け合い)」する皆さんです。

■地図の「  と「 」には、

地域の皆さんだけが知っている危険な場所や、過去に被害が起こったのを見たことがある場所が含まれています。

■地図の「」は、

訓練参加者が考えた危険回避に適している場所です。地元の集会所や、寺社、高台のほか、比較的安全と思われる個人宅や、背の高い頑丈な建物(一般企業などの民間施設)が含まれています。

■地図の「  」は、

訓練参加者が考えた避難経路です。

「」が平成29年、「」が平成30年の印です。地区により、道路に沿った経路を考えたところと、大まかな避難方向に留めたところがあります。

大勢の意見ですので「」と「」で方向が正反対のところもありました。その理由が分かる場合は、町(総務課)がコメントを書き込んでいます。

また「」として平成31年のその他の意見も掲載しています。

ごく一部ですが、あきらかに危険な方向に経路を引いていた場合は、町の判断で矢印を外しています。